

# 取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、  
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。  
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

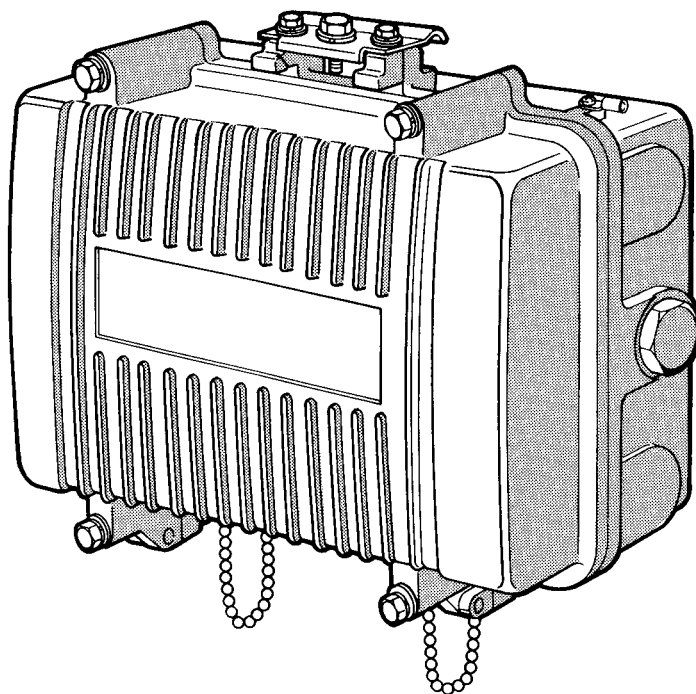


## 共同受信用コンバータ

UHF-VHF  
**CUC-201**  
(NH-CONV1)

VHF-VHF  
**CVC-201**

UHF-VHFワイド  
**CUC-202**  
(NH-CONV2)



### 製品の特長

- 小形軽量のダイカストケースを採用し、放熱効果にも優れています。
- シリコンパッキンの採用により、防水は確実です。
- 電磁シールドの採用で、漏洩対策も万全です。

## 安全上のご注意



△記号は(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。  
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。  
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は注意して行なってください)が描かれています。



## 警告

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- テレビ受信関連工事には技術と経験が必要です。お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。



- 表示された電源電圧(交流20~30ボルト)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



- この製品の本体を直径1.6ミリメートルの銅線で接地してください。接地しないと避雷や保護接地の効果がなくなり、火災・感電や故障の原因となります。



- 高所に設置する場合は、足場と安全を確保して行なってください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



- 風の強い日や、雨、雪、雷などの天候の悪い日は、危険ですから設置工事や点検をしないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



- この製品に接続する同軸ケーブルには電流が流れることがありますので、途中には通電形機器以外は絶対に挿入しないでください。通電形機器を挿入する場合は、通電端子をよく確かめてお使いください。もし、非通電形機器を挿入しますと、回路やケーブルがショートして、火災や感電の原因となります。



- この製品に接続する同軸ケーブルには、電流が流れることがありますので、製品と接栓の接続および接栓と同軸ケーブルの接続で、心線と外部導体がショートしないようにしてください。火災や感電の原因となります。



- この製品に水が入ったり、ぬれたりしないようにご注意ください。雨天での設置工事や点検・調整で蓋を開けないでください。火災・感電の原因となります。



- この製品を設置・点検・調整した後は、正しく蓋を閉めてください。  
水が入ったりして、火災・感電の原因となります。



- 万一内部に水が入った場合は、まずこの製品に給電している電源を切り、水をよく拭き取ってから、電源を供給してください。  
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- この製品を分解したりしないでください。また、お客様による修理や改造はしないでください。感電やけがの原因となりますし、性能維持ができなくなり、故障の原因となります。



- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに製品に供电している電源を切り、煙がでなくなるのを確認してCATV施設の管理者もしくは工事店に修理をご依頼ください。



- 取り付けネジやボルトや接栓は、指定している力(トルク)で締め付け、堅固に取り付け固定してください。落下や破損して、感電やけがや故障の原因となります。



- この製品や部品や工具類を高い所から落とさないでください。  
けがの原因となります。



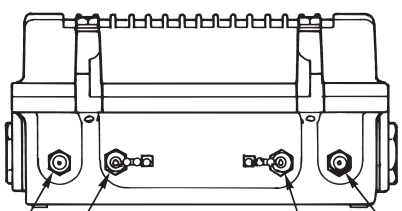
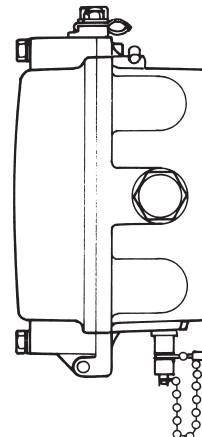
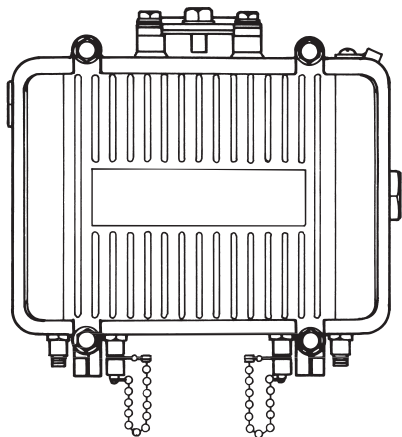
- 雷が鳴り出したら、この製品にはふれないでください。  
感電の原因となります。



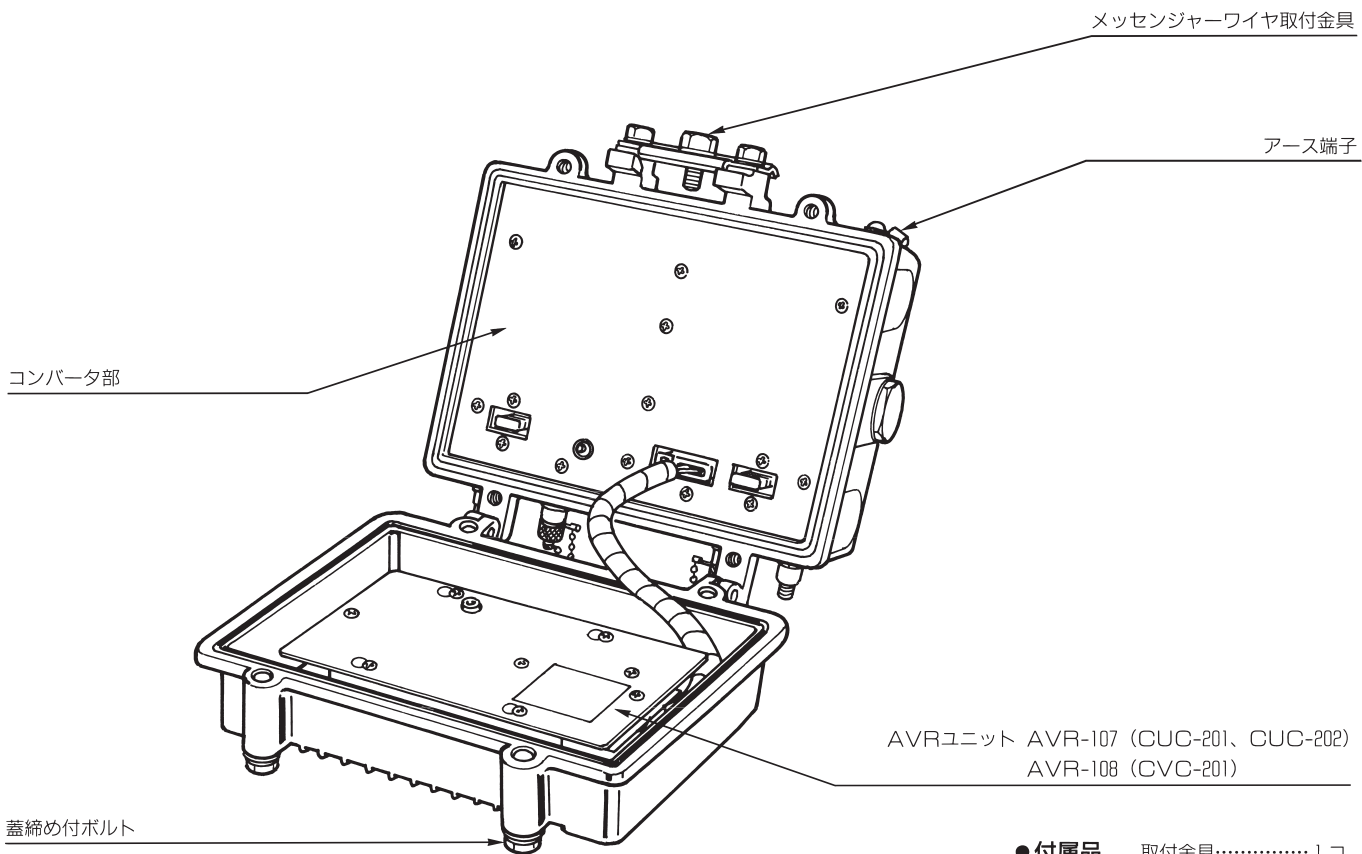
## お取扱いの前に

- 設置作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえ行なってください。
- 高所や足場の悪い場所での設置作業では、安全に十分注意してください。
- 電源の供給は、すべての同軸ケーブルが完全に接続されていることを確認した後、行なってください。また、AC入力電圧や通電電流容量が規格値であることを確認した後、通電してください。
- この製品は防浸形(防水形)ですが、蓋の締め付け不良や、接栓の接続不良などにより浸水することがありますので、正しく作業を行なってください。
- 通電切換プラグや調整箇所以外の電子部品は、故障の原因となりますので、絶対に手を触れないでください。

# 各部の名称

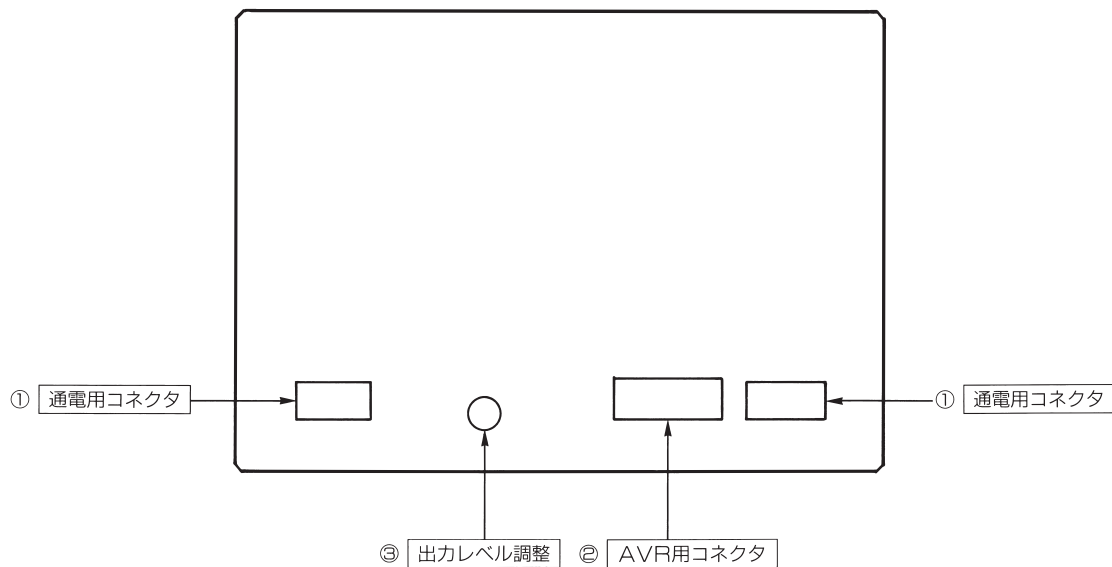


入力 同軸給電 出力モニタ(-20dB) 出力



●付属品 取付金具……………1コ

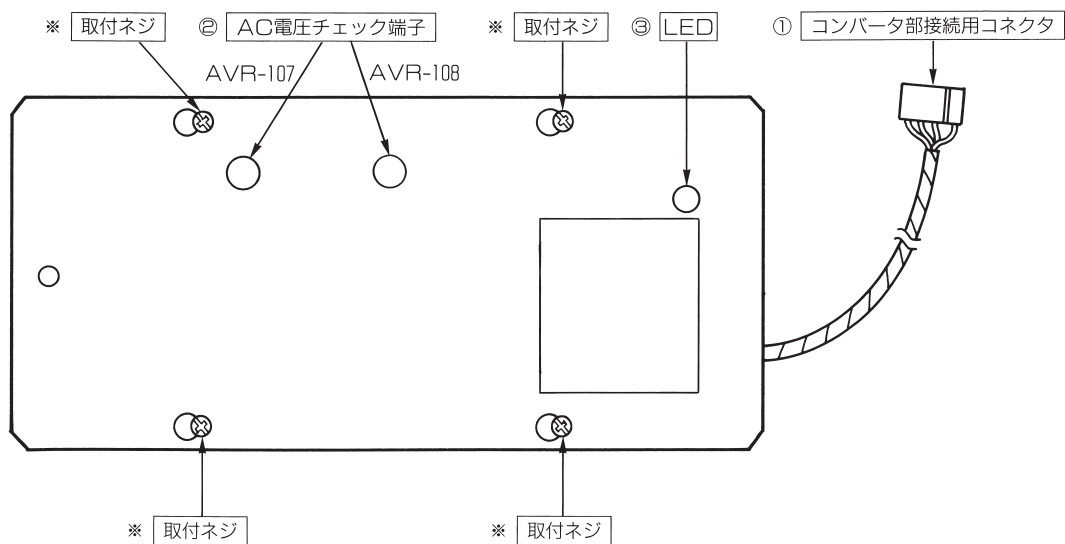
## コンバータ部の説明



- ①通電用コネクタ……………各端子の通電が通電切換プラグの操作によりできます。(1Aまで通電可能)
- ②AVR用コネクタ……………AVRユニットを接続します。
- ③出力レベル調整……………出力レベルを0～10dB以上連続可変できます。
- ※工場出荷時には、この製品の出力レベル調整ボリュームは最大となっています。

## AVRユニットAVR-107・AVR-108の説明

CUC-201、CUC-202で使用するAVRユニットはAVR-107です。また、CVC-201で使用するAVRユニットはAVR-108です。指定以外のAVRユニットを使用しないでください。



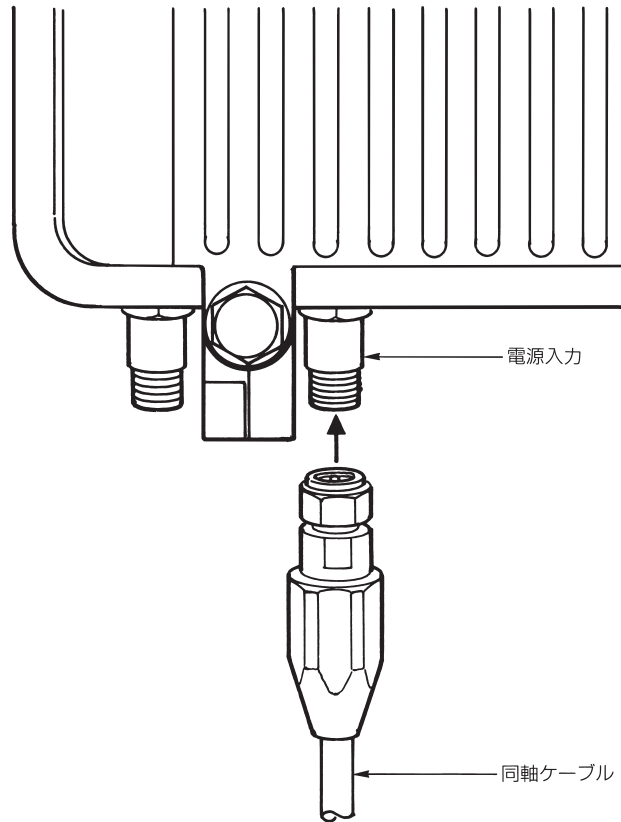
- ①コンバータ部接続用コネクタ……………コンバータ部のAVR接続用コネクタと接続します。
- ②AC電圧チェック端子……………AC電源電圧の確認ができます。
- ③LED……………AC電圧を受電し、DC電圧を出力している場合に点灯します。

### 〈AVRユニットの交換方法〉

1. コンバータ部接続用コネクタをはずす。
2. 取付ネジ※(4本)を緩めAVRユニットを右側にスライドさせる。
3. セットする場合は逆の作業を行なってください。

# 本体給電、ケーブル給電、通电の方法

## 〈同軸ケーブルによる本体給電〉



- 屋外で使用する場合は、必ず防水形接栓を使用してください。

## 〈各端子への給電・ケーブル給電・通电〉

入力 ○ [ ] 出力 [ ] ○ ●各端子には通电されません。

入力 [ ] ○ ○ [ ] 出力 ●入力、出力端子に通电。

④ [ ] はAC入力電圧切換プラグの位置を示します。

# 接栓の防水処理

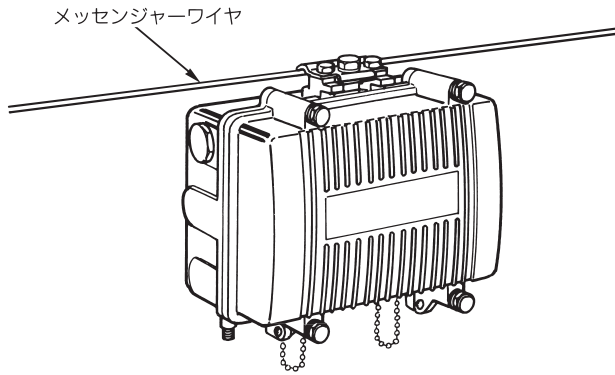


- 指でよく押さえ、融着を促進させます。

- ビニルテープを自己融着テープの上から巻き、自己融着テープ同様に指でよく押さえてください。

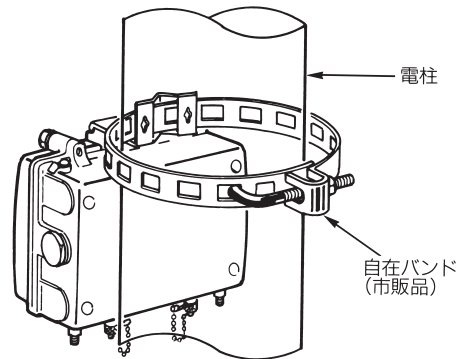
## 取付方法

### 〈メッセンジャーワイヤへの取付け〉



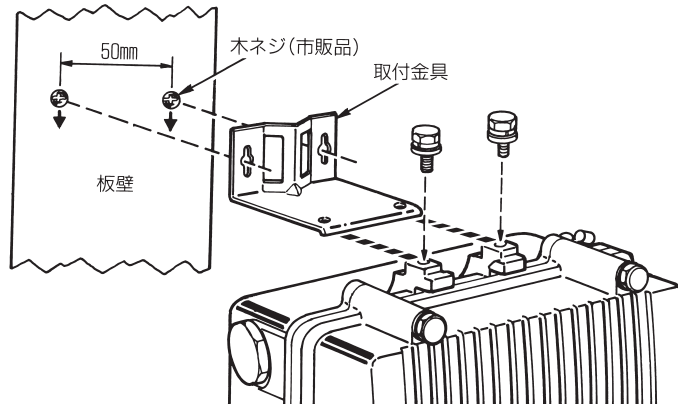
- 図のようにワイヤホルダでしっかりとメッセンジャーワイヤ（14～36mmφ）に取り付けてください。

### 〈電柱への取付け〉



- 図のように取付金具に自在バンド（市販品）を通し、電柱にしっかりと取り付けてください。  
（取付金具へのコンバータ本体の取り付けは板壁と同様に取付けてください。）

### 〈板壁面への取付け〉



- 取付金具を図のようにしっかりと本体に取り付けてください。  
つぎに、2本の木ネジ（市販品）で図のように壁面に取り付けてください  
（木ネジは市販のものをご使用ください。）  
※コンバータは水平、垂直の傾きがないよう注意して取り付けてください。

## 使用上のご注意

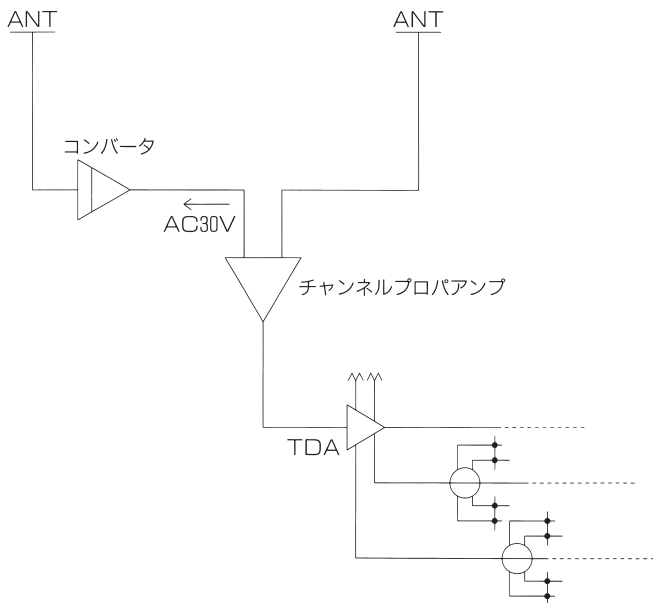
- AC入力電圧が規定であることをテストで確認してください。
- 各端子の通電電流容量は1A以下となっていますから、必ずこれ以内で使用してください。
- コンバータ本体を1.6φの銅線でアースしてください。
- 蓋をする場合は防水パッキンが曲っていないことを確かめ、蓋締付ボルトで締め付けてください。また取り付けや調整の際に雨水や湿気がコンバータ内に入ったときは、水分をよく拭きとってから蓋をしてください。  
※防水パッキンにはシリコングリスなどを一切塗布しないでください。  
※締付トルクは600N・cm（約60kgf・cm）で均一に締め付けてください。
- F形接栓の締付トルクは100～200N・cm（10～20kgf・cm）で締め付けてください。

# 規格特性

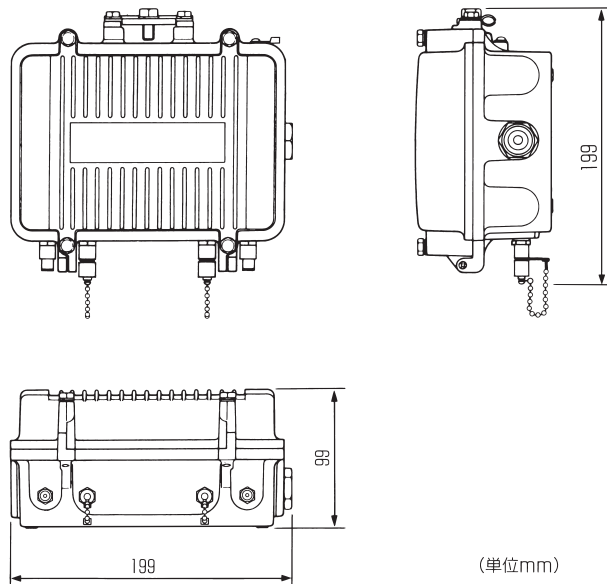
品番	CUC-201	CVC-201	CUC-202
入力周波数帯域幅 (MHz)	6 (UHF帯指定)	6 (VHF帯指定)	18または30 (UHF帯指定)
出力周波数帯域幅 (MHz)	6 (VHF帯指定)		L : 18 (ch.1~ch.3) M : 18 (ch.4~ch.6) H : 30 (ch.8~ch.12)
標準利得 (dB)	10		15
利得調整範囲 (dB)	0~-10以上連続		
標準出力レベル (dBμ)	80		
利得安定度 (dB)	±1.5		
帯域内周波数特性 (dB)	チャンネル中心周波数±3MHzで±1以内		
帯域外減衰量 (dB)	中心周波数±9MHzで30以上		Mの上側、Hの下側6MHzで30以上 その他は帯域外6MHzで15以上
雑音指数 (dB)	8以下		
入出力VSWR	入力1.5以下	出力2.0以下	2.0以下
映像妨害比 (dB)	-35以下		
局発漏洩 (dBμ)	40以下 (入出力端子)		
不要放射 (dBμ/m)	34以下 (IEC法による)		
周波数偏差 (kHz)	±20以内		
カラ混変調 (dB)	-30以下 (3信号法による)		
ハム変調 (dB)	-60以下		
耐雷性 (kV)	±24 (1×40μs)		
使用温度範囲 (°C)	-20~+40		
電源 (V)	AC20~30 (50/60Hz)		
消費電力 (VA)	4.3~8.2	5.4~11.3	4.3~8.2
接栓容量 (A)	1以下		
質量 (kg)	2.6	3.1	2.6

※規格は改良により、変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

## システム使用例



## 外形寸法図



詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

- ・札幌支店 TEL.(011)822-1251(代)
- ・茨城営業所 TEL.(029)826-5341(代)
- ・三重営業所 TEL.(059)226-1643(代)
- ・広島支店 TEL.(082)237-5331(代)
- ・東北支店 TEL.(022)243-2141(代)
- ・千葉支店 TEL.(043)253-1121(代)
- ・金沢支店 TEL.(076)261-9988(代)
- ・岡山営業所 TEL.(086)245-2948(代)
- ・郡山営業所 TEL.(024)921-7131(代)
- ・横浜支店 TEL.(045)651-2557(代)
- ・富山営業所 TEL.(076)422-7878(代)
- ・高松営業所 TEL.(087)868-1222(代)
- ・東京西営業所 TEL.(03)3354-8451(代)
- ・静岡営業所 TEL.(054)281-0141(代)
- ・大阪支店 TEL.(06)6304-5651(代)
- ・松山営業所 TEL.(089)925-3826(代)
- ・東京東営業所 TEL.(03)3633-1411(代)
- ・浜松営業所 TEL.(053)461-6885(代)
- ・近畿システム営業所 TEL.(06)6304-5658(代)
- ・福岡支店 TEL.(092)541-0168(代)
- ・東京システム事業部 TEL.(03)3341-5282(代)
- ・中部支店 TEL.(052)771-5106(代)
- ・堺営業所 TEL.(072)278-5311(代)
- ・北九州営業所 TEL.(093)922-6556(代)
- ・多摩営業所 TEL.(042)770-2931(代)
- ・松本営業所 TEL.(0263)27-7801(代)
- ・京都営業所 TEL.(075)382-6141(代)
- ・大分営業所 TEL.(097)504-7799(代)
- ・埼玉営業所 TEL.(048)652-3311(代)
- ・岡崎営業所 TEL.(0564)27-1516(代)
- ・神戸支店 TEL.(078)974-7100(代)
- ・熊本営業所 TEL.(096)325-0711(代)
- ・宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100(代)
- ・新潟営業所 TEL.(025)276-2166(代)
- ・南九州営業所 TEL.(099)267-8211(代)
- ・沖縄営業所 TEL.(098)874-6202(代)

(2003年12月現在)

## DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代) 東京支社/〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目11番4号 長崎第1ビル3F TEL.(03)3341-4569(代)  
カスタマセンター TEL.(078)682-0455 受付時間 9:30~12:00/13:00~17:00 (土曜・日曜・祝日および夏季・年末年始は除く) ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>